

小學初等作文教授法

大久保脩編
宮川薰法編

上

特33

615

大日本教育會館			
第二室			
二冊	一八〇四號	六架	二函

東新七

048269-001-3

特33-615

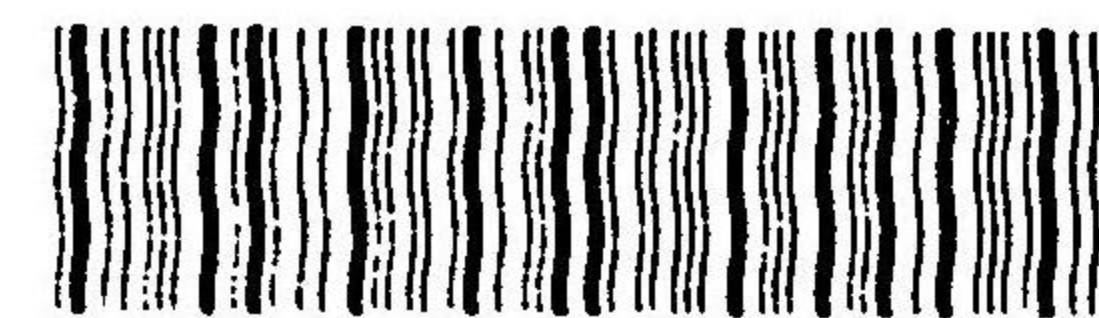
小學初等作文教授法

宮川 薰法 / 著

上

M15

BEF-2295



東京 大久保脩校閱
大阪 宮川董法纂輯



小學初等作文教授法

單語單句填字活用法 應用變法工夫養成法

口上支書取受取填字綴法 日用文填字及電信文

大阪書肆 文山堂前川氏藏

敘

分累寸積。勉為不息。蟻垤成丘。矣。小之不勤。則大之病也。夫兒童之於文也。不慎。諸初也。則侏離之言。駭舌之語。支離抵牾之已甚。不翅癡人之夢也。是見聞未博。而胸中匱文字。工夫不純。



叙



分累寸積。勉為不息。蟻垤成丘。
 矣。小之不勤。則大之病也。夫兒
 童之於文也。不慎諸初也。則侏
 離之。言。馱舌之語。支離抵牾之
 已甚。不翅癡人之夢也。是見聞
 而胸中。匱文字。工夫不純。

四等作文法叙

耳。猶江河初決也。不防之於涓
々。則潰崩洋溢。不可復收拾焉
矣。而其初。範之驅馳。而左右遇
源者。蓋為難也。非自一字而二
字。自一句而數句。涵養之久。令
之。驢飫之法。則一禽不可獲。而
其大者全廢矣。是宮川董法之

意也。而累積寸分之勞。可謂勤
矣。世之兒童輩。獲良師而為御
者。此篇以為輕車。終日驅馳於
範圍之中。而孜孜不息。猶於赤
蟻之成丘乎。筆鋒之銳。可期也。
余嘉其裨益於小學子弟之効
也。遂序於卷端。云爾。明治十五

年晚春下澣古愚散人識



福井淳堂書

小學初等作文教授法卷上

目次

- 第一課 單語
- 第二課 短句仮字綴
- 第三課 仮字交リ短句
- 第四課 填字法
- 第五課 仮字活用法
- 第六課 填字作文法
- 第七課 應用變法
- 第八課 工夫養成法

小學初等作文教授法

宮川董法 編輯

初等科

第一課

生徒片假字ト以呂波ノ字形ヲ記憶シテ之ヲ讀
 ミ得ルニ至ルトキハ先ズ二三ノ文字ヲ連ラ子
 テ一語ヲ綴ルノ方ヲ教フベシ生徒ノ常ニ目撃
 セル卑近ナル物名ヲ頭書ノ如ク黑板ニ書シテ
 之ヲ讀マシメ次ニ仮字ニテ之ヲ綴ラシムルヲ

目、口、耳、鼻、手、足、指、爪、夜具、足袋、鍋、釜、膳、椀、皿、鉢、壺、樽、箱、藍

め、ム、グ、ア、シ、チ、ユ、エ、ミ、ミ、ハ、ナ、ツ、メ、ハ、ナ、カ、カ、ハ、ハ、カ、カ、ツ、メ、ハ、ナ

率子左ノ如クシ誤アルハ必ズ之ヲ黑板ニ記シテ之ヲ示シ命ジテ改正セシムベシ但シ生徒ノ中ニ盡ク仮字ヲ習ヒ終ラサルモノモ亦無ニ非ズ故ニ適量シテ一般ニ適當ノ文字ヲ授ケンコトヲ要ス

升、本、筆、墨、紙、琴、櫛、笠、下駄、靴、桃、栗、梨、柿、麥、菽、茄子、蓀、獨活、芥、葱、鶴、鷺、雁、鳶、鷹、鷲、鳩、牛、馬、猫、猴、魚、鹿、虎、獅、蟬、蜂、蜘蛛、蟻

マ、ス、カ、カ、ム、ミ、タ、タ、フ、フ、カ、カ、ク、ク、コ、コ、ホ、ホ、ハ、ハ、チ、チ、カ、カ、マ、カ、カ、ル、キ、キ、ツ、ツ、ト、ト、ン、ン、ク、ク、ト、ト、ネ、ネ、ワ、ワ、サ、サ、ウ、ウ、ム、ム、モ、モ、ク、ク、フ、フ、モ、モ、ラ、ラ、コ、コ、シ、シ、ギ、ギ、ド、ド、ギ、ギ、ハ、ハ、シ、シ、サ、サ、ハ、ハ、ガ、ガ、セ、セ、マ、マ、ク、ク、カ、カ、ス、ス、リ、リ、ハ、ハ、ル、ル、ト、ト、ン、ン、リ、リ、メ、メ、リ、リ、サ、サ、ミ、ミ

初等作文教授法

新編 伊予方言考 卷一

蚊、蚤、蟹、魚、蛇、鮭、鱒、鱈、魚、青魚、鮒、松、竹、梅、薔薇、百合、菖、菊、象、帽、蝶、絲、犬、鋏、稻、芋、荷子、井、擧、犀、鯉、貝、鯛、莞、鯪、枝、繪、家、苗、蠅、杖、

いあささいいききむささへか
へいももとくくめバび
なへにエココいいざざばバふフさサの
へびびいヒすすぬヌうウらラなナけケみミ
はハ江エかカあキくクばバゆユまママかカ
へへだダいヒどドまハうウりリつつすすにニ
つつ急エたタかカいいてテはハたタたタかカ
急エまママいヒいイね子ふフぎギけケらラめメ

枇杷、粟、帶、芥、桶、竿、魚、顔、雉子、匙、鱒、藤、鈴、水、頭、着物、袴、袋、竈、火鉢、鐘、土瓶、德利、釣瓶、鏡、斎、簞笥、秤、剪刀、煙管、大鼓、林檎、蜜柑、李、柘榴、胡瓜、蕪、蚕豆、

びビをヲきキすスかカかカ
はハけケはハドジバ
あアさサさサみミさサさサ
はハはハはハはハはハ
あアうウねオぢヂをヲびビ
ふフかカをヲぢヂほホのノ
かカみミはハかカココはハ
ぶブかカさサゾゾつつかカ
らラんんみミみミふフまママ
さサすすきキぶブどドゆユ
ハハもモせセんんびビかカ
げゲハハるルココんんたタ

カ
三

雀、鼠、蚯蚓、榮螺、	鮫、杏、躑躅花、羊、	芭蕉、紅葉、鯨、鶏、	午菜、慈姑、鯉、万年書、	喇叭、雪駄、扇、葡萄、	蕪鉄、薑、茗荷、鮎、	椿、櫻、辛夷、牡丹、	蜈蚣、螢、虱、鰻、	狐、雲雀、狸、蜥蜴、	烏、燕、鴛、兔、
すずばめ	なまづ	ばせを	じばう	らつぱ	そてつ	つばき	むかて	きつね	からす
ねずみ	あんず	もみぢ	くわお	せつた	せうが	さくら	ほたる	ひばり	つばめ
みみず	つづ	くど	かつ	あふぎ	めうが	こぶし	しらみ	たぬき	あひる
さざえ	ひつ	うづ	おもと	ぶたう	どぜう	ぼたん	うなぎ	とかけ	うさぎ

杜鵑花、豚、蝶、草履、	錨、時計、盥、篩、	鳥居、繪具、鼎、蛙、	鞆、机、戀、鯨、	尾、櫛、硯、土衣、	團扇、羽織、手桶、頭巾、	股引、鉄瓶、傘、簪、	越瓜、蓮根、鱒、山吹、	南天、茶釜、茶碗、南瓜、	西瓜、冬瓜、磁石、柄杓、
さつ	いかり	とり	とも	かは	うち	もみ	し	な	す
あけい	とけい	えぐ	くわ	か	は	て	れ	ち	と
おもり	たら	か	く	す	を	て	か	ち	ど
さ	ふる	か	い	う	は	ぶ	か	か	ひ

甘藷ハ最モ甜シ
荀ハ竹根ヨリ出
硯ハ石ニテ作り
墨ヲ磨ル物

さつまいもは。もつともあまじ。
たけのこは。たけのこねよりいづ。
すばりは。いしにてつくりすみをするもの。

第三課

以上二課ヲ習熟シ了ルトキハ眞字ヲ交ジヘテ
句ヲ綴ル方ヲ授クベシ短句中ニ交フベキ近易
漢字ヲ頭書ノ如ク黑板ニ書シ生徒ニ之ヲ誦
讀セシメテ次ニ教師短句ヲ口ニテ唱テ之ヲ綴ラ
シムルコト左ノ如クス而シテ漸次數句ヲ綴ラ
シムルヲ要ス

鷹ハ猛シ山ニス
白シ水邊ニアル鷺
雁ハ春去リ秋来ル
鷺ノ足ニハ蹼アリ
猴ハ人ニ似タリ手四ツアリ
鷄ハ家ニ畜ハル距アリ
鴛鴦ハ美シキ羽アリ
蜘蛛ハ絲ヲ吐キテ網ヲ結ブ
蟹ハ足ハツアリ能ク横行ク
蛇ハ足無クシテ能ク匍匐スルナリ

鷹ハ猛シ山ニスム。
鷺ハ白シ水邊ニアル。
雁ハ春去リ秋来ル。
鷺ノ足ニハ蹼アリ。
猴ハ人ニ似タリ手四ツアリ。
鷄ハ家ニ畜ハル距アリ。
鴛鴦ハ美シキ羽アリ。
蜘蛛ハ絲ヲ吐キテ網ヲ結ブ。
蟹ハ足ハツアリ能ク横行ク。
蛇ハ足無クシテ能ク匍匐スルナリ。

鯛海住色赤美、
金魚大抵尾大、
鰻泥中多鱗長、
鯉又鮒池河住、
竹節直其葉常青、
松葉細四時青、
椿葉綠花種々、
水仙花寒中開香、
芭蕉大葉風傷易、
牽牛花早朝午後

鯛ハ海ニ住ム。色赤クシテ美クシ。
金魚ハ大抵色赤ク尾大ニシテ美ナリ。
鰻ハ多ク泥中ニ住ム。鱗ナクシテ長シ。
鯉又ハ鮒ハ池河ナドニ住ソリ。
竹ハ節アリテ直ク其葉常ニ青シ。
松ハ葉細ヤカニシテ四時トモニ青シ。
椿ハ葉緑ニシテ花ノ色ハ紅白種々アリ。
水仙ノ花ハ寒中ニ開キ色白クシテ香シ。
芭蕉ハ大ナル葉アリテ風ニ傷レ易シ。
牽牛花ハ早朝ニ開キテ午後ニ萎ムナリ。

鐵鉄木造耕具、
釣竿魚用具、
轡馬口嵌、
手拭綿製即木綿、
日本紙楮雁皮製、
唐紙麻網茶古布、
西洋大槩古布、
學校勉強小兒笈、
木綿絹麻毛織等、
夏單物帷子着、

鐵ハ鐵ト木ニテ造リ田畠ヲ耕ス具ナリ。
釣竿ハ魚ヲ釣ルニ用キル具ナリ。
轡ハ馬ノ口ニ嵌メルモノナリ。
手拭ハ綿ヨリ製ス即チ木綿ナリ。
日本ノ紙ハ楮又ハ雁皮ヨリ製スルモノナリ。
唐紙ハ麻網古布等ヨリ製スルナリ。
西洋ノ紙ハ大槩古布ヨリ製造スルナリ。
學校ニテ勉強セザル小兒ハ人ニ笑ハルハ、
衣服ハ木綿絹麻毛織等ヲ以テ製ス。
夏ハ單物マタハ帷子ヲ着ス。

冬綿入着足袋
土瓶蓋口
茶煎湯沸
時計晝夜時刻
短針時指示
長針分時
帽子高低圓
黑板木作黒塗板
禮帽子脱人時
猫白黒斑等種

冬ハ綿入ヲ着テ足袋ヲ穿ル
土瓶ニハ蓋口ヲ底ナドアリ
土瓶ハ茶ヲ煎ジマタ湯ヲ沸カス
時計ハ晝夜ノ時刻ヲシノスモノナリ
時計ノ短針ハ時ヲ指シ示スモノナリ
時計ノ長針ハ分時ヲ指シ示スモノナリ
帽子ハ高キアリ低キアリ圓キアリ
黑板ハ木ニテ作り黒ク塗タル板ナリ
人ニ禮ヲナス時ハ帽子ヲ脱グベシ
猫ニハ白黒斑等種々ノ毛色アリ

能遠路走
歩甚
花蜜求飛
人寢待出
水中佳

第四課

生徒既ニ前ノ短句ヲ綴リ得ルハ其句中ノ直字ヲ記憶シテ自由ニ用ニ臨ミテ書シ得ルニ至ラシム可シ之ヲ習熟セシムルノ方ハ左ノ如ク
符ヲ施シ之ニ直字ヲ填セシムヘシ
馬ハ□□□□□□□□
牛ハ□□□□□□□□
蜂ハ□□□□□□□□
鼠ハ□□□□□□□□
蝶螳ハ□□□□□□□□

葉細四時青

寒中花開香

大葉風傷易

早朝開午後萎

海佳色赤美

大低色赤尾大美

多泥中佳鱗長

鮎池河佳

節直其葉常青

葉綠花色紅白

松ハ□□ヤカニシテ□□□□

水仙ハ□□ニ□□テ□□シ

芭蕉ハ□□ナル□□アリテ□□ニ□□レ□□シ

牽牛花ハ□□□□テ□□ニ□□ム

鯛ハ□□ニ□□ム□□クシテ□□クシ

金魚ハ□□□□□□□□ニシテ□□ナリ

鯉ハ□□ク□□ニ□□ム□□ナクシテ□□シ

鯉又ハ□□ハ□□□□ナドニ□□ソリ

竹ハ□□□□□□□□□□ニ□□シ

椿ハ□□□□ニシテ□□ノ□□ハ□□□□種々アリ

第五課

生徒前課ニ熟シタル中ハ文字ノ用法ト文章ノ活用ヲ知ラシムベシ其法頭書ニ示スガ如ク仮字ニ代フルニ△符ヲ以テシ之ニ仮字ヲ填シムベシ

桃ノ花ハ春開キ色淡紅ナリ其實ハ秋ニ至テ

熟ス甘味ナリ

栗ノ實モ亦秋ニ至テ熟ス甘味ニシテ滋養ノ効アリト云フ

表紙ハ書冊ノ破レ或ハ汚レルコトヲ防ク為メ

挑△花△春開△色淡紅ナリ其實△味△至△熟△甘△栗△實△亦秋△至△熟△甘△味△滋養△効△表紙△書冊△破△或△汚△

櫻花春開淡紅最櫻ノ花ハ春開久淡紅ニシテ最モ美ナリ
美人ハ久ニシテ
モナリ

松山野生長其青
四時ハミシトモ
ニシ

蜜柑四月花開十月
熟頃ハヌキニ
ス

家人住居所種々
結構其ハ人スル
ニシテアリ

猿山中棲獸四手
人似ハニムナリ
アリテニタリ

第七課

生徒填字ヲ倦ミ厭フノ念ヲ起サザル前ニ豫メ
之ヲ防グノ用意アラントテ要ス故ニ種々ノ法
ヲ設ケテ之ヲ活用スベシ必シモ前法ノミニ抑
扼スベカラズ或ハ左ノ法ヲ用フルモ可ナリ

○鷹

○鷹 深山ニ他
食ノ禽鳥

○鷹ハ深山ノ大木ニ巢ヒ他ノ禽鳥ヲ捕ヘ食ヒ

○鷹ハ○ノ大木△巢ヒ○△○○ヲ捕ヘ○匹

○鹿

○鹿ハ山中ニ棲ム獸類ナリ。牡ニハ角アリ牝ニ

第八課

生徒曰ニ許多ノ文字ヲ記臆シ稍文思ヲ發起ス
 ルハ益之ヲ鼓舞スベシ然レハ突然文題ノミ
 ヲ與ヘテ其自ラ作ルニ任ス一勿レ動モスレバ
 構思ノ難キヲ厭ヒ為ニ作文ノ課ヲ忌ムニ至ル
 者ナリ故ニ題ヲ與ヘテ作文セシメント欲スル
 ニ先ヅ其文思ヲ扶助養生セン一ヲ要ス而シテ
 人ノ文章ヲ剽竊スル弊ヲ嚴禁セザルベカラズ
 然ラザレバ遂ニ自立ノ心ヲ失ヒ剽竊摸倣ノ耻
 タルヲ知ザルニ至ルベシ

作文ノ工夫ヲ養成スル法ハ若シ猿字ヲ與ヘテ
 文ヲ作シメント欲セバ先ヅ猿字ヲ黑板ノ一方
 ニ書シ頭書ノ如クシ之ヲ讀シノ後之ヲ問答ス
 ルヲ大約如此シ
 猿ハ何處ニ栖ム者ナルヤ 答 山中ニ棲ム 問 何ノ
 類ナルヤ 答 獸類ナリ 問 何ヲ食スルヤ 答 果實ヲ
 食ス 問 手ハ幾何アリヤ 答 手ハ四アリ 問 猿ハ最
 モ何ニ似タルヤ 答 人ニ似タリ
 此ノ如ク問答スル毎ニ其緊要ナル文字ヲ黑板
 ニ書シ之ヲ讀シメ問答終リテ後之ヲ以テ作文

○猿 山中棲獸類、菓實、食、手、四、最、人、似、

セシムベシ然ル中ハ工夫次第ニ熟シ自然ニ綴リ得ルニ至ル者ナリ

○猪

山中棲獸、晝、山、伏、夜、里、出、田、圃、害、者、

猪ハ山中ニ棲ム獸ニシテ晝ハ山ニ伏シ夜ハ四アリ最モ人ニ似タリ

○猪

猪ハ山中ニ棲ム獸ニシテ晝ハ山ニ伏シ夜ハ里ニ出テ、田圃ノ害ヲナス者ナリ

○椅子

椅子、木、籐、造、其、形、

○椅子

椅子ハ木ト籐ニテ造ル其形種々アリ腰ヲ掛

種々、腰掛、用、物、

クルニ用キル者ナリ

○磁石

方角、知、用、器、頭、尖、鉄、針、常、南、北、向、

○磁石

磁石ハ方角ヲ知ルニ用キル器ナリ頭ノ尖レ鉄針アリテ常ニ南北ニ向ヘリ

○桃

三月頃、花、開、色、其、淡、紅、美、實、七、八、月、頃、至、熟、甘、味、

○桃

桃ハ三月頃花ヲ開ク其色淡紅ニシテ美ナリ實ハ七八月頃ニ至リテ熟ス味甘シ

○指

手、先、左、右、各、五、莖、

○指

指ハ手ノ先ニアリテ左右各五ツアリ第一ヲ拇指ト曰ヒ第二ヲ食指ト曰ヒ第三ヲ中指ト

一、拇指曰、食指中
指、無名指、小指、第

二、三、四、五、

○手

腕、手、先、左右、五指

内、掌曰、握、拳

○足

二、步行、掌、後、踵、云

上、下、跌、蹠

○石盤

曰、第、四、無、名、指、ト、曰、第、五、小、指、ト、云、フ
ナリ

○手

手ハ、腕ノ先ニアリ、左右各五指アリテ、手ノ内

ヲ掌ト曰ヒ、手ヲ握ルヲ拳ト曰ス

○足

足ハ、二ツアリテ、步行ヲ掌ル、足ノ後ヲ踵ト云

ヒ、足ノ上ヲ跌ト曰ヒ、足ノ下ヲ蹠ト曰ス

○石盤

石盤ハ、便利ナル器ナレ、静ニ使用セザレバ、

便利、器、静、使用、碎

○鉛筆

鉛筆、墨汁、用、唯、其

削、尖、直、書

○石筆

蠟石、作、物、石盤、使

用

○墨

松煙、作、文、字、書、寫

圖、畫、用

碎ケ易シ

○鉛筆

鉛筆ハ、墨汁ヲ用キ、唯其サキヲ削リ、尖ラシ

テ、直チニ書スナリ

○石筆

石筆ハ、蠟石ナドニテ作レル物ニテ、石盤ニノ

ミ使用スルモノナリ

○墨

墨ハ、松煙ニテ作り、文字ヲ書シ、圖畫ヲ寫スナ

ドニ用フ

○膳

脚、二、木作、漆、以、塗、其、色、種々、食物

○椀

木、作、以、蓋、漆、塗、吸、物、椀、菓子、椀、平、皆、種々、食物、盛、器、

○茶

瀨、戸、物、内、外、繪、具、畫、描、彩、色、飯、盛、用、

○盃

酒、盛、器、陶、器、又、云、

○皿

碟、云、陶、器、以、作、鉢、小、淺、食、物、盛、用、

○箸

食、物、挾、用、具、二、本、一、膳、竹、木、作、

○狼

深、山、居、猛、獸、他、捕、

膳

膳ハ脚ニツアリ。木ニテ作り。漆ヲ以テ塗ル。其色ハ種々ナリ。食物ヲ置クニ用ナル臺ナリ。

○椀

椀ハ木ヲ以テ作り蓋アリ。漆ニテ塗ル。吸物椀菓子椀平ナド種々アリ。皆食物ヲ盛ル器ナリ。

○茶碗

茶碗ハ瀨戸物ナリ内外ニ繪具ヲ以テ畫ヲ描キ彩色ヲナセリ。飯ヲ盛ルニ用ウ。

○盃

盃ハ酒ツギト云フコトニテ酒ヲ盛ル器ナリ

陶器又ハ木ニテ作レリ。

○皿

皿ハ碟トモ云フ。陶器ヲ以テ作ル。鉢ヨリ小サクシテ淺シ。食物ヲ盛ルニ用ウ。

○箸

箸ハ食物ヲ挾ムニ用ナル具ナリ。二本ヲ以テ一膳トス。竹木ナドニテ作レリ。

○狼

狼ハ深山ニ居ル猛獸ニシテ他ノ鳥獸ヲ捕ヘ

鳥獸食、又人害

○鯉

淡水中住、大魚、長三尺、餘其鱗、頭尾至、大小、三十六、云

○金魚

金銀紅白葉斑色、極美麗、小魚、其尾三岐、夏日、盆水、養變玩者

テ食ヒ、又人オ害ス

○鯉

鯉ハ、淡水中ニ住ム、大ナル魚ニシテ、長サ三尺、餘アリ、其鱗ハ、頭ヨリ尾ニ至ルマテ、大小三十、六アリト云フ

○金魚

金魚ハ、金銀紅白等ノ斑色アリ、極ソテ美麗ナル小魚ナリ、其尾三岐ヲナス、夏日、盆水ニ養テ、變玩スル者ナリ

○鯛

海魚種類甚多、大抵色紅白、肉味美

○寒暖計

硝子作、中水銀盛、又火酒紅色、添入、其昇降見、氣候寒暖度知

○葡萄

春小白花開、秋至

鯛ハ、海魚ニシテ、種類甚ダ多シ、大抵色ハ紅ク、肉白シ、味美ナリ

○寒暖計

寒暖計ハ、硝子ニテ作り、中ニ水銀ヲ盛レリ、又ハ「アルコー」ルヲ紅色ニ染メ、タルモノヲ入レ、其昇降ヲ見テ、氣候ノ寒暖ナル度ヲハカリ知ルモノナリ

○葡萄

葡萄ハ、春小サキ、白花ヲ開キ、秋ニ至レハ、紫色ノ實ヲ結ブ、味ニ甘クシテ、酸シ、葡萄酒ヲ造ル

紫色、結實、味甘、酸

○着物

絹、木綿、麻、毛織、作
形、種々、衣服、総名

○羽織

絹、木綿、羅紗、種々、
織物、作、廣、縁、胸、紐、
結、体、上、部、着

○袴

體、下、部、着、仙、臺、平

ニ用ウ

○着物

着物ハ、絹、木綿、麻、毛織、ナドニテ、作ル、ソノ、形ハ
種々アリ、衣服ノ、総名ナリ。

○羽織

羽織ハ、絹、木綿、又ハ、羅紗、ナド、種々ノ、織物ニテ
作ル、廣キ、縁アリ、胸ノ、マヘニテ、紐ヲ、結、体ノ
上部ニ、着ルモノナリ。

○袴

袴ハ、體ノ、下部ニ、着ルモノニシテ、仙臺平五仙

五仙平、暑寒平、嘉

平次小倉織、葛織

作、平袴、野袴、中、又

馬乘袴、褶高袴、小

袴、裁附種々、皆襲

○品行

橋、低、之、悔、水、淺、之、
輕、歩、行、謹、事、易、見、
之、忽、品、行、顧

○善事

平暑寒平嘉平次小倉織葛織ナドニテ作ル平

袴野袴ナドアリ野袴ノ中ニテ又馬乘袴褶高

袴小袴裁附ナド種々アリ皆襲ヲ附ケタリ

○品行

橋ノ低キヲミテ之ヲ悔リ水ノ淺キヲミテ之
ヲ輕ンズルハ、歩行ヲ謹マザルモノナリ、事ノ
易キヲ見テ之レヲ忽ニスルハ品行ヲ顧ミザ
ルモノナリ。

○善事

善事ハ終身之レヲ行フモ猶盡キズ惡事ハ一

善事、終身之行、猶
盡、惡事、一日、既、餘
故、積、頭、一、回、忽、露

日之レヲ行へバ、既ニ餘アリ、故ニ善事ハ、積マ
ザレバ、頭ハレズ、惡事ハ、一、回、之、ヲ行へバ、忽チ
露ル、モノナリ。

○有用ノ品

○有用品

一葉、故紙、以、百字
學、一寸、石筆、十言、
書、故、瑣、小、雖、必、棄、

一葉ノ故紙以テ百字ヲ學ブベク。一寸ノ石筆
以テ十言ヲ書スベシ。故ニ有用ノ品ハ瑣小ナ
リト雖モ必棄ツベカラズ

○盜

○盜

假令、他人、物、盜、雖
心、思、既、同、盜、

假令他人ノ物ヲ盜マズト雖モ心ニ盜マント
思ヒシトキハ、既ニ盜ミタルニ同シ

○電信機

○電信機

設、如何、遠、處、暫、時、
音、信、通、得、

電信機ノ設アリシヨリ、如何ナル、遠キ處ニテ
モ、暫時ニシテ、音信ヲ通ズルコトヲ得ルナリ。

○行狀

○行狀

初、會、人、其、行、狀、善、
惡、因、大、約、人、知、得、

初メテ會ヒタル人ニテモ、其行狀ノ善キト惡
シキトニ因リテ、大約ソノ人トナリヲ知リ得
ベシ

○美シキ衣服

○美シキ衣服

着、人、皆、賢、思、可、一
字、知、一、業、為、能、人、
猫、錦、衣、着、異、

美シキ衣服ヲ着スル人ハ皆賢キモノト、思フ
可ラズ、モシ一字ヲモ知ラズ、一業ヲモ為スコ

○言語

器物飲尚補得言
語飲再補可故言
語時能心用過言

○光陰

世間最惜可物光
陰一分去復還故
空時移一剎間勉
有

ト能ハザル人ナレバ猫ニ錦衣ヲ着セタルニ
異ナラズ

○言語

器物ノ飲ケタルハ尚補フコトヲ得ベシ言語
ノ飲ケタルハ再補フ可ラズ故ニ言語スル
時ハ能ク心ヲ用キテ過言スベカラズ

○光陰

世間ニ最モ惜ム可キ物ハ光陰ナリ一分ニテ
モ去リタル中ハ復還ルナシ故ニ空シク時
ヲ移スナク一剎人間モ勉メズンバ有ルベ

○善キ小兒

寒暑厭日々學校
出以神幸福與人
之敬愛遂身貴家
富至

カラス

○善キ小兒

善キ小兒ハ寒暑ヲ厭ハズ日々學校へ出ヅル
ヲ以テ神ハ幸福ヲ與人ハ之ヲ敬愛シテ遂
ニ身貴ク家富メルニ至ルベシ

○虚言

平生為人真實言
語他人虚言思之
信無故言語慎可

○虚言

平生虚言ノミヲ為ス人ハ真實ノ言ヲ信ルト
モ他人ハ虚言ナリト思ヒ之ヲ信スルモノ無
シ故ニ言語ハ慎マサル可ラズ

○瀛車瀛船

○瀛車瀛船

今世、汽車及汽船、如速有、以、数十里、隔、遠、處、雖、猶、隣、家、

○肉類

我邦、人、常、穀、類、食、能、滋、養、為、肉、類、中、魚、肉、獸、肉、善、

○學問

他人、美、衣、着、麗、家、住、羨、自、己、斯、如、考、

今世ハ汽車及汽船ナドノ如キ速ナルモノ有ルヲ以テ数十里ヲ隔ツル遠キ處ト雖モ猶隣家ノ如シ

○肉類

我邦ノ人ハ常ニ穀類ヲ食スレドモ能ク滋養ヲ為スモノハ肉類ナリ肉類ノ中ニテ魚肉ヨリ獸肉ヲ善シトス

○學問

他人ハ美シキ衣ヲ着シ麗ハシキ家ニ住スルヲ羨マズシテ自己ノ斯ノ如クナルコトヲ考

唯、學問、上、達、世、用、時、之、得、何、難、有、

○文字

心、千、里、外、達、得、後、文、字、故、人、百、歲、知、得、亦、故、之、心、盡、云、

○朋友

善、人、交、善、事、効、惡、友、接、惡、事、深、故、常、知、識、善、擇、

テ唯學問ニ上達シ世ニ用弁ラル、時ハ之ヲ得ルニ何ノ難キナランヤ

○文字

心ヲ千里ノ外ニ達スルヲ得ルモ文字ナリ故人ヲ百歳ノ後ニ知ルヲ得ルモ亦文字ナリ故ニ之ヲ心盡ト云フ

○朋友

善人ニ交ハレバ善事ヲ効ヒ惡友ニ接スレバ惡事ニ深ム故ニ知識アルモノハ常ニ善キ朋友ヲ擇ブナリ

○人力車

近来、我國人、創製
係、其快捷、大、日用、
便、雖、心、者、之、嘆、人、
牛、馬、代、為、云、人、智、
進、步、國、於、斯、如、賤、
業、者、故、車、夫、如、憐、
大、者、

○人力車

人力車ハ、近来、我國人ノ、創製ニ係ル、其快捷ナ
ル、大ニ日用ニ便ナリト雖モ、心アル者ハ之レ
ヲ嘆ジテ、人ニシテ、牛馬ノ代ヲ為スト云ヘル
人智ノ進歩セル國ニ於テハ、斯ノ如キ賤シキ
業ヲナス者ナシ。故ニ車夫ノ如キハ、大ニ憐ム
ベキ者ナリ

小學初等作文教授法卷之上 終

